

# 北杜

2010  
Vol. 21

## 議会だより



校内書き初め大会

### 12月定例会



|                 |       |          |
|-----------------|-------|----------|
| 議案と審議・臨時会       | ..... | P2 ~ 3   |
| 市長の所信表明・委員会レポート | ..... | P4       |
| 議員研修            | ..... | P5       |
| 会派代表質問(5会派)     | ..... | P6 ~ 14  |
| 一般質問に11人        | ..... | P15 ~ 18 |
| 【声のひろば】4人       | ..... | P19      |
| 北杜市ウォッチング       | ..... | P20      |

(第5号)

# 設備に1億1405万円 整備に6432万円

予算総額307億5930万円に

## 一般会計補正

### おもな財源

(単位：万円)

|         |       |
|---------|-------|
| 国庫支出金   | 1億481 |
| 市債(借入金) | 1億910 |
| 県支出金    | 8877  |
| 地方交付税   | 1716  |
| 分担金・負担金 | 1344  |
| 諸収入     | 262   |
| 寄付金     | 116   |

### おもな使いみち

(単位：万円)

|                   |        |
|-------------------|--------|
| 小中学校太陽光発電設備設置     | 1億1405 |
| 農地有効利用支援整備        | 6432   |
| 道路維持補修            | 4000   |
| 森林整備加速化・林業再生      | 2158   |
| 耕作放棄地等再生整備支援      | 1489   |
| 農地農業用施設災害復旧       | 1030   |
| 全国瞬時警報システム整備      | 761    |
| 中学生海外交流           | 662    |
| 住宅用太陽光発電システム設置費補助 | 175    |
| 父子手当支給            | 90     |
| 職員相互交流            | 57     |
| 生活保護事業            | 41     |

**父子家庭に対する  
経済的支援を実施**

父子家庭については、国からの経済的な支援がないため、仕事と子育ての両立に苦慮している現状があります。

父子家庭に対する経済的支援の実施を求める請願は、これまでも議会で2回採択、国へ意見書を提出しました。同時に市へも支援の実施を働きかけ、独自の父子手当制度の創設が決定しました。

3月から一定の所得以下の父子家庭に対して月額1万円が支給されます。

12月定例会は、12月8日から25日までの18日間の会期で開催され、市長提出の平成21年度一般会計・特別会計補正予算11件をはじめ、条例改正3件、契約1件、動産購入1件、報告1件、同意3件、その他2件の計22件を審議し、原案のとおり可決、同意しました。

また、請願4件を採択、議員発議による意見書5件を可決しました。



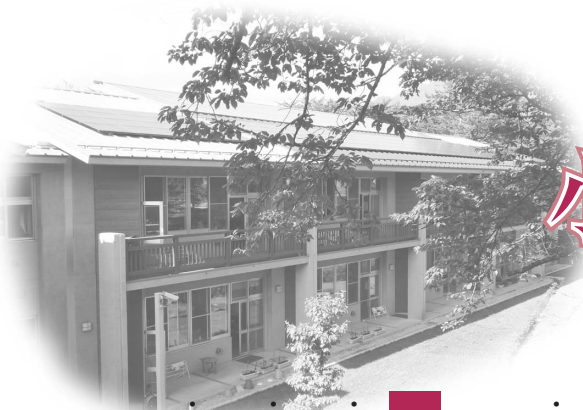
中学生海外交流(カナダ)

## 特別会計補正

(単位：万円)

|          |      |
|----------|------|
| 国民健康保険   | 2621 |
| 介護保険     | 896  |
| 簡易水道     | 2349 |
| 下水道      | 1037 |
| 農業集落排水   | 134  |
| 甲陵中・高等学校 | 3363 |
| 辺見診療所    | 170  |
| 白州診療所    | 174  |
| 武川財産区    | 48   |
| 病院       | 953  |

# 小・中学校太陽光発電 農地有効利用支援



## 条例改正

行政組織改革に伴う関係条例の整理に関する条例  
「保健福祉部」を「市民部」「福祉部」に変更するための関係条例改正

委員会付託の条例改正  
については委員会レポート（4ページ）に掲載

## 契約

- ・新山崎団地建設工事
- ・契約の方法
- ・一般競争入札
- ・契約金額  
2億3100万円
- ・契約の相手方  
三井建設工業（株）

## 動産購入

- ・購入する動産  
市立小・中学校パソコン
- ・購入金額  
3873万円
- ・購入の相手方  
（合）内田盛和堂

## 同意

- ・教育委員会委員 藤森 孝之（須玉町）
- ・上手原山恩賜林保護財産区管理会委員  
小尾 誠之（高根町）
- ・浅尾原財産区管理会委員  
浅川 紀（須玉町）

## 請願

核兵器廃絶の課題で「日本政府に対する意見書の採択」を求める請願

- ・請願者  
切山 允（大泉町） 笹岡 貢典（長坂町）  
雨宮 裕代（高根町） 長澤 康明（武川町）
- ・紹介議員  
千野 秀一 中村 隆一  
風間 利子 篠原 眞清  
保坂多枝子 小須田 稔

食品表示制度の抜本改正について国への意見書提出を求める件に関する請願

- ・請願者  
生活クラブ生活協同組合理事長 中野 裕子
- ・紹介議員  
保坂多枝子 秋山 九一  
相吉 正一

改正貸金業法の早期完全施行等を求める請願

- ・請願者  
山梨県司法書士会会長 宮澤 伯夫  
日本司法書士政治連盟山梨会会長 中山 健夫  
山梨県青年司法書士協議会幹事長 白壁 英仁
- ・紹介議員  
坂本 静 保坂多枝子  
渡邊 陽一 千野 秀一  
篠原 眞清

## 意見書

関に提出。

- 子どもたちの生命を守るため、ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの公費助成、定期接種化を求める意見書の提出を求める請願
- ・請願者 進藤 寿次（小淵沢町）
- ・紹介議員 小尾 直知 内田 俊彦

電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書

- ・提出議員 風間 利子
- ・賛成議員 渡邊 英子 小須田 稔  
相吉 正一 篠原 眞清  
中嶋 新 秋山 九一

第4回

# 臨時会

11/30

## 議員発議

### 議員の期末手当を減額

市長・副市長・教育長および市職員の給与条例の改正のほか、議員発議による議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の改正を原案のとおり可決しました。

議員の期末手当の減額は、議員全体で74万7600円になりました。



# 市長の所信表明

## 韓国・抱川市との 職員交流正式調印

12月2日、名誉市民である平山郁夫先生がご逝去されました。今夏、先生自ら発案の絵画教室で、「子どもたちから元気をもらえた、今後も続けたい。」と話していただき、もつともつとご活躍いただけるものと思っております。平山郁夫シルクロード美術館をはじめ、市の文化・教育・観光振興に多大なご貢献をいただき、悲しみに耐えません。心からご冥福をお祈りいたします。梨北米が「日本一おいしい」との高い評価をいただいたことを契機に、北杜市制施行5周年記念式典の中で、「おはよう!!朝ごはん宣言」をさせていただきます。この地の豊かな自然と先人の「農」に対する汗に感謝し、市民相互の「絆」が一層深まることを願っています。

### 市政の状況

#### 1 姉妹都市交流事業

韓国・抱川市との職員交流について、11月22日に正式調印しました。22年度から3年に1度の交流を原則として、相互の職員交流を実施することとなりました。

#### 2 少子化、子育て支援策

父子家庭へ市独自に経済的支援を行うため、父子手当制度を創設し、保育料の第2子以降の無料化と合わせ、きめ細かな子育て支援を実施していきます。

#### 3 市立甲陽病院

内科医師の退職により、今後の医療体制に支障を来たさないよう医師派遣について山梨大学医学部付属病院の医局をはじめ、他病院への働きかけを行い、一日も早い常勤内科医師の確保に努めます。

#### 4 小中学校太陽光発電設備設置事業

「太陽光発電設置業者選定委員会」を設置、公募型プロポーザル（提案）方式で業者決定。22年の夏休みを中心に工事を行い、23年3月からシステム運用開始の予定です。

#### 5 水道料金の統一

22年6月調定分から適用の予定で、各町単位で説明会を開催してまいりましたが、一部の地域でなかなかご理解をいただけないため、今後さらにご理解をいただく努力を重ね、早期に条例改正案を提出していきたいと思えます。

#### 6 北杜市就職ガイダンス

求職者の就業促進と市内立地企業への人材確保支援のため、多岐にわたる17社に参加いただき、求職者130人とのフリーガイダンス方式の面接会が行われました。雇用実現に期待しています。

#### 7 市営住宅整備

市営住宅サンコーポラス団地の入居率は約84%で、所得制限もなく、幅広い市民の利用が可能となっております。大泉町に建設する新山崎団地も、22年10月の完成を目指しています。

## 委員会レポート

### 総務常任委員会

付託された組合規約の変更1件、請願2件を審査し、原案のとおり可決・採択した。  
 県市町村議会議員公務災害補償等組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更  
 全員賛成で可決  
 核兵器廃絶の課題で、「日本政府に対する意見書の採択」を求める請願  
 改正賃金業法の早期完全施行等を求める請願  
 全員賛成で採択

### 文教厚生常任委員会

付託された条例改正2件、広域連合規約の変更1件、請願1件を審査し、原案のとおり可決・採択した。  
 後期高齢者医療に関する条例の一部改正  
 保険料延滞金額の負担軽減のための改正  
 デイサービスセンター条例の一部改正  
 法改正に伴う条項変更。  
 県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び同広域連合規約の変更  
 全員賛成で可決  
 子どもたちの命を守るため、ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの公費助成、定期接種化を求める意見書の提出を求める請願  
 全員賛成で採択

### 経済環境常任委員会

付託された請願1件を審査し、原案のとおり採択した。  
 食品表示制度の抜本改正について国への意見書提出を求める件に関する請願  
 全員賛成で採択

# 視察研修

## 地方分権改革で 日本再生を目指す

＝全体研修＝ 10月21～22日

全国市議会議長会 研究フォーラムin金沢

「国の財政は既に破綻状態にある。少子化・高齢化・大借金の3つの課題を抱える日本再生のためには、地方分権は必然だ。」  
これは、基調講演を行った丹羽宇一郎氏（地方分権改革推進委員会委員長）の言葉であり、地方分権改革を推進する具体策を議会として学んだ。また、パネルディスカッションや課題討議では、「地方議会はどう変わるべきか」「二元代表制と地方議会の改革」「議会基本条例を考える」「議員立法の現状と課題」など、議員の責務を問われる重要かつ濃厚な内容の研修であった。

### 総務常任委員会

### 文教厚生常任委員会

11月12～13日

### 岐阜県高山市

### 行政改革

### 本庁と支所との連携

「総務」市民と行政の協力関係を目標に、高山市行政改革大綱を策定、644ある公共施設のうち20年度までに286施設に指定管理者制度を導入、上下水道事業が指定管理であることが特徴。  
また、退職勧奨年齢を30歳以上にするなど、平成22年4月までに400人削減と54億円の人件費削減を掲げている。

### 保育園、小中学校の統廃合の取り組み

「文教」規模・状況に格差があり、必然的に整備が進み、民間移譲もスムーズに行われた。北杜市の民間委託保育園も、選択肢のひとつとして検討されるのか、慎重に見守りたい。

### 富山県南砺市

### ハザードマップの作成

「総務」20年のゲリラ豪雨の際、甚大な被害を受けた南砺市では、市内全域を対象にしたハザードマップを作成した。

地形が似ている本市でもこれらを教訓として、自主防災組織の拡大や、災害時用支援事業の強化に取り組み参考にした。

### 南砺市にて



### 保育園の統合

「文教」平成16年の合併時には24の市立保育園があった。審議会の答申をもとに、旧3町の地域審議会で検討委員会を立ち上げ、それぞれの保育園を1～3園に統合、建設予定地も検討している。

本市でも幅広く意見集約を図り、地域合意の形成が必要で、保護者が安心して子どもを預けられる体制づくりが必要と感じた。

### 議会運営委員会

11月5～6日

### 葦崎市

### インターネットでの 議会中継と録画に よる配信

開かれた議会の広報手段として、インターネットによるライブ中継や録画配信を実施するため、本市でも導入検討の必要性を感じた。

### 埼玉県久喜市

### 議会基本条例を研修

久喜市では議会基本条例検討委員会を議員9人と議長で構成。素案づくりのため4人の小委員会を設置、平成21年6月に全32条の議会基本条例を可決した。

北杜市でも住民自治の実現や、市民に開かれた議会を目指すひとつの手段として、条例制定に取り組み必要性を感じた。



葦崎市にて



高山市にて

日本共産党

# 雇用、暮らし 市民生活を守る施策は



中村 隆一

**問** 来年度における、雇用創出のための北杜市としての事業計画は。

年末年始、年越し派遣村の代わりに市役所の各支所で、雇用・住宅・生活保護・融資等のワンストップ相談体制をとるべきではないか。森林を守り育てることは、地球環境への貢献だけでなく、新たな雇用創出につながる。公共施設には県産材の使用を。

**答**

国や県と連携し

積極的に取り組む

**市長** 今年度、ふるさと雇用再生特別基金事業および緊急雇用創出事業に積極的に取り組んでいる。来年度については、現在各部署からの要望をまとめ、県と事業内容

を協議している。

**産業観光部長**

12月29日から31日まで、市役所で生活困窮者相談および中小企業者の金融相談に応じる体制をとる。

17年度から里山整備を予算化し、間伐作業等を通じて雇用の創出につなげている。今後も、県や森林組合と連携し、林業就業希望者の講習会を開催し支援していく。

**問**

デマンドバスの試行から  
本格導入に向けて

予約は前日までだが、当日予約を実現できないか。家族単位の利用者登録にできないか。

運行エリアの拡大を。2年目以降の実証運行エリアは。

市民バスと循環バスの合間にダイヤ設定すべきだが、公共施設を巡回するルートを設定すべきだが。

障害者の利用を考慮し、タラップを低くしては。

もっと宣伝をすべきだが具体策は。

市民バスとデマンドバスの組み合わせ方は。

**答**

問題点を多面的に  
検証する

**市長** 財政的に継続可能な公共交通の整備、交通弱者の足の確保に努める。

**企画部長**

利用者の多くは高齢者。予約内容の確認に1人30分程度要している。当面は前日予約で対応。

高齢者の利用実態の把握等には個人登録が必要。

登録時や利用時のアンケートに基づきエリアを決めた。

来月の協議で来年度のエリアを決定する。

実証運行の中で、市民バスとの役割分担を検討する。

行き先等の利用実態を分析し、エリア設定に反映する。

安全対策は実証運行の中で検討する。

運行計画、利用者登録を周知す

るため、今月7日にチラシを新聞折り込みした。今後も広報等で利用を呼びかける。

**問** 市立図書館の役割は

図書館は地域交流の場。統廃合は望ましくないが。

利用者、児童・生徒の意見を聞く場を設けるべきだが。

自然と文化が北杜市の魅力。図書館減は逆方向では。

**答**

読書と交流の場  
として重要

**教育長** 多様な利用形態がある一方、読書環境の充実を望む声もある。

10月には利用者懇談会を開催した。意見箱等に寄せられた要望は、市立図書館適正配置等検討委員会に報告する。

今後の図書館のあり方について、委員会で公募の委員、学識経験者等に多方面から検討していただく。



地域との交流の場

北杜クラブ

国の事業仕分けの市への影響は

問 8月の総選挙で政権交代となり、鳩山政権が誕生した。政府は、22年度の国の予算編成に当たり、各省庁の概算要求に対し、行政刷新会議による事業仕分けが実施された。今回の事業仕分けにより、廃止、減額、移管となるものが想定される事業のうち、北杜市に關係する事業とその影響および対応について、各部署ごとに伺う。

北杜市の重要施策として位置づけられている農道整備事業、食育関係、森林整備支援事業、鳥獣害対策、それに住宅用太陽光発電導入支援が廃止の方向であるが対策は。

答

主要施策に支障が生じないよう対応

市長

仕分け作業の結果、現段階で市に影響があると判断できるものが20事業

総務部関連は、消防防災施設整備費補助金。

企画部は、地方交付税交付金。

保健福祉部は、医師確保、緊急周産期対策補助金等。

生活環境部は、新エネルギー等導入加速化促進事業、住宅用太陽光発電導入支援対策補助金、下水道、農業集落排水事業、汚水処

理施設設備交付金。産業観光部は、農道整備、田園整備、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金、強い農業づくり交付金、中山間地等直接支払制度、農地・水・環境保全向上対策、森林所有者向け支援、鳥獣被害防止事業、観光を核とした地域の再生・活性化事業、シルバー人材センター援助。

建設部は、まちづくり交付金。教育委員会は、子どもゆめ基金。事業仕分けの結果は、予算編成作業を経る中で取り扱いが確定する。今後の動向を注視し、市の主要施策に支障が生じないよう対応する。

農道整備事業は4路線、長坂地区の農道は90・8%済んでいて、県に要望して来年度完成予定。残りの3路線は内閣府の事業なので影響はない。食育関係は予算の縮減だが、情報収集して事業費の確保に努める。森林整備は県と協議の結果対応する。鳥獣害は自治体の判断で行うため影響はない。太陽光は市の補助制度は引き続き行うが、見直しを期待する。

問

水道事業計画は

水道料金には各町の事情があり、地元簡水の歴史、水利権等々、複雑に絡み合ったものを統一することが容易でないことは理解できるが、以下伺う。

水道事業に対する国庫補助の近年の実績と、今後の見通しは。

19年2月、簡易水道一本化による上水道への移行の計画書を国に提出したが、経営認可申請には料金統一が必要なのか。申請の延期はありうるのか。認可されなかった場合の影響は。申請の具体的な内容は。

水道料金統一について、各町への説明会で浮かび上がった課題と、今後の方向性は。



中山 宏樹



田んぼの中でストップしているエコーライン

**答** 補助金7億が  
財政効果

**市長** 10月、11月に市内8町で説明会を開催した。大泉と武川は要請を受け、再説明会を実施した。町別の決算内容の違い、水源が異なるなど料金統一への疑問が表明された。水道事業の現状と料金統一の必要性に理解を得られるよう再度説明会等を開催したい。

**生活環境部長** 水道事業に対する国からの補助金は、19年度が約2億円。20年度が約1億5000万円。21年度は約1億7000万円を予定している。今後については、経営認可申請を策定中だが、28年度までに約7億円の補助を想定している。

安全な水の安定した供給には、国の補助を受け施設整備を実施する必要がある。国庫補助を継続して受けるため、今年度中に認可申請できるように準備を進めている。簡易水道を統合し、ひとつの水道事業とするため料金統一は避けられない。不認可の場合は、補助金を受けられない恐れがある。内容は、降雨時に水質の落ちる個所の整備、老朽化した配水管の敷設替え、減圧弁等の取り替え整備。

**問** 観光産業の振興は

観光産業は、恵まれた自然環境や文化的遺産、そして観光と切り離すことのできない食の分野との連携や、そこに住む人々のおもてなしの心に支えられていまや地域活性化の柱となっている。

リトリートの杜構想は、具体的に何を示しているのか。市民に充分浸透しているとは思えない。事業コンソーシアムが19年に設立されたが現在の活動状況は。

旅行者の長期滞在を促進するため、健康や癒しをテーマとしたプランの開発と広報、宣伝活動を。

本市は20年4月、ミキハウス子育て総研のベビーズヴァカンスタウン選定プロジェクト「子連れ旅行にいい観光地」の第1号に選定された。受け入れ態勢の充実、啓発を行っているのか。

21年7月から、中国人富裕層の観光ビザ発給が始まった。観光標識、パンフレット、インターネット等受け入れ態勢について伺う。八ヶ岳観光圏整備計画の内容と進捗状況は。広域圏の観光には道路整備が欠かせない。エコーラインと小淵沢インターの連結は。

**答** 八ヶ岳観光圏の  
連携を図る

**市長** 増富地域再生協議会による健康・療養プログラムの開発など、リトリートに特化した取り組みを積極的に支援していく。

選定を契機に、子育て家族歓迎の宿泊施設やレストランなどの観光施設に呼びかけ、ベビーズヴァカンスタウン北杜連絡会を設立し、情報交換、専門誌への情報提供等PRに努めている。



観光キャンペーン（中野駅）

**産業観光部長**

18年度の団塊の世代を対象とした長期滞在型地域資源実証実験において、自然景観や温泉などの癒しと健康、地域住民との交流など高い評価が得られた。旅行者が滞在中、暮らす感覚で地域と交流できるリトリートの杜を目指し、事業コンソーシアムを19年12月に立ち上げた。21年7月に一般社団法人として登記。着地型の旅行商品の企画販売を手がけるよう、旅行業第3種の登録を目指し取り組んでいる。

市内業者で構成する北杜市インバウンド協議会と連携し、外国人観光客の誘致活動を推進している。英語、韓国語、中国語の観光パンフレットを作成し、観光協会のインターネットも英語等で閲覧できるように対応している。案内標識の外国語による表記、通訳案内体制の構築にも取り組んでいる。

8月21日、八ヶ岳観光圏整備推進協議会を設立し、付属ワーキング部会で検討を重ねてきた。八ヶ岳ブランドの形成ほか、5つの基本方針に基づき、圏域観光パンフレットの作成、宿泊プラン、バスの利便性向上などを柱に整備計画を策定した。実施計画では、22年1月末までに協議会の承認を得て国土交通省に認定申請する予定。エコーラインと小淵沢の連結につ



いては、計画に盛り込む。長野県富士見町は接続道路の拡幅で当面は対応し、将来の整備を検討することのこと。

**問** 市民と協働のまちづくりは

市民の価値観や生活様式が多様化し、暮らしとまちづくりに対する要求は多岐にわたっている。厳しい財政状況の中、行政だけでは解決できない課題が増えている。市民と行政の協働によるまちづくりを進めるべきだ。

北杜市の行政と協働し活動しているNPO法人数と主な活動内容は。

まちづくりをサポートする人材の育成は。

市民団体が気軽に利用できる拠点施設、サポートセンターを作る考えは。

**答** 官学連携し人材育成を図る

**市長** 台ヶ原や増富地区では、大学と提携し地域リーダーの育成を図ってきた。今後も官学連携によるインターシップなど、地域づくりを意識した実践的な講座により人材育成を進め、市民協働のまちづくりの基本指針策定を検討したい。

**総務部長** 山梨県には361のNPO法人が登録されており、40

法人が北杜市に関係している。遊休農地を活用した都市と農村の交流、宿場町の保存や歴史・文化の継承、地域特産としてクレンソノ栽培を行っている団体のほか、台ヶ原ふるさとづくり協議会、増富地域再生協議会が関係部署と連携し市と協働関係にある。

環境保全基金、教育・文化・スポーツ振興基金を活用して積極的な取り組みに助成している。NPO法人や地域づくり団体へのパツクアップ、連絡会の開催、企画提案された活動の手伝い等も行っていく。サポートセンターの設置は、今後の検討課題としたい。



防火帯を利用したトレッキング（小淵沢）

22年度予算編成は

**問** 合併から5年が経過した。議会も行政とともに、問題解決に向け取り組んでいかなければならない。市は18年3月に行政改革大綱を策定、大綱の実施計画として行政改革アクションプランを策定し、

年度ごとの取り組みスケジュールや計画最終年度に当たる22年度の目標を具体的に掲げた。来年度がプランの最終年度で、この4年間は政府の三位一体改革による地方交付税や補助金の減少に加え、アメリカのプライムローン問題に始まった景気低迷による地方交付税や補助金の減少、急速に進む少子高齢化、歴史的ともいえる政権交

代による予算編成・予算配分の方法が大きく変わろうとしている。事業の廃止、見送り、削減、基金の返納、地方への事業の移管など厳しい仕分けは地方に大きな影響が出ることは必定だ。市の行財政改革の進捗度と新年度予算に臨む市長の所見を伺う。

行財政改革アクションプランの4年間の現状、達成度は。アクションプラン最終年となる新年度予算編成への考えは。事務事業の具体的な見直しは。行政評価システム導入と第三者機関の設置は。

今年度の市税収入の見込みと法

明政クラブ



坂本 治年

人市民税の還付予定額は、  
上水道事業の統一、料金改定と  
住民説明会の結果と対応は。

**答** 事業評価制度を  
予算編成に生かす

**市長** 各部署にアクションプランに基づいた予算要求を指示し、公共事業費や特別会計操出金等には、具体的な制限を設定している。事務事業の効率性・有効性を客観的に評価し、成果を反映させて業務を再構築する仕組みとして、事務事業評価制度を導入した。

2力年の試行を経て、本年度から20年度事業のうち516事業を対象に評価した。各課でさらに検討を進め、必要に応じ第三者委員会を設置し市民説明会を実施したい。

国は、28年度までに簡易水道事業を統一し、上水道への移行を求めている。今年度中の経営認可申請を目標に準備してきた。料金統一への理解を得るため住民説明会を開催したが、不満や疑問の声も多く、簡易水道運営委員会からの要請もあり今議会への条例改正案の提出は見送った。

**企画部長** アクションプランの進捗率は、18年度が61・9%、19年度が63・6%、20年度が74・6%。使用料、手数料、負担金、免

除制度の見直しなど課題が鮮明となった。

**総務部長** 21年度の市税は、前年の72億2313万円と比べ、6・9%減、67億2000万円の見込み。内訳は、個人市民税8・2%減、法人市民税37・1%減、固定資産税2・9%減、タバコ税15・1%減、軽自動車税2・4%増。法人市民税の還付は、今後、修正申告等がなければ2418万円余の見込み。

**問** 地域医療の充実は

医療費の増加と医師不足は、地域医療の抱える重要課題だ。容態が比較的安定している患者が退院を求められても、高齢者世帯、核家族化による共働き家庭等が多く受け皿がないのが現状だ。国や県は受け入れ先として、特別養護老人ホームや介護施設を考えているが、入居待機者も多く入居が困難になっている。この状況を解決できるのが、在宅医療・介護の充実ではないか。

診療内容の充実と今後の課題は、在宅医療の現状と課題は、市立病院・診療所と開業医との連携は、

在宅・終末医療の研究と充実は、長野・山梨にまたがる八ヶ岳医

辺見診療所(明野)



療圏を考える協議会の設立は。

**答** 医療機関の連携で

**市長** 塩川病院は外科、甲陽病院は内科の常勤医がいらない。山梨大学や自治医大関連団体等に派遣要請するなど医師の確保に努めているが、現状が長期化する場合は、診療科目の統合を視野に入れざるを得ない。

塩川病院は、自宅訪問を行って



塩川病院(須玉)

いる。甲陽病院は、医師不足と地元医師会との申し合わせで実施していない。

甲陽病院の内科外来に、市内の医療機関の医師の協力を得ている。

甲陽病院に在宅緩和ケア支援センターを設置した。

富士見高原病院と連携しているが、現状では八ヶ岳医療圏の設立は難しい。



**問** 知的財産の有効活用は

北杜市には、技術者、研究者、大学教授、芸術家、文化人等が多く在住している。知的資源の宝庫ともいえる。この潜在的資源を顕在化し、市の活性化につなげるための支援策を考えるべきだ。

特許権、実用新案などの知的財産権を所有する市内在住者への支援は。

知的財産支援窓口の設置は。北杜ブランドとして商標登録を。

**答** 地域資源のブランド化に期待

**市長** 14年に知的財産基本法が制定され、さまざまなプロジェクトが立ち上がっている。本市においても、早稲田大学、東京芸術大学、山梨総研との連携、異業種交流を図っている。潜在化している知的財産を活用し、地元企業の競争力向上、地域経済に貢献できるように体制づくりを検討したい。

知的財産窓口は、体制が整うまで市民相談窓口で対応したい。

北杜市の地域イメージ確立のため、北杜ブランドの構築が寄与するところが大きい。地域団体商標制度を活用したブランド創出に期待する。



名水を守ろう

**問** 環境整備対策は

尾白川や八ヶ岳南麓の湧水をはじめ、本市は名水の里として全国に名を馳せている。後世にわたって守っていく責務がある。

河川の汚染状況は。下水道整備における接続状況は。合併浄化槽の現状と汚水検査の事態は。

河川敷の荒廃解消対策は。堤防整備の現状は。

**答** 水質向上に努める

**市長** 河川管理者の県に対し、良好な河川環境と安全性の確保を要望している。

破損状況、地元要望に対応し、県に堤防整備の要請をしている。

**生活環境部長** 年2回、市内河川の66カ所水質検査を実施している。直近の8月調査では、環境基準26項目について良好な結果を得ている。

21年3月現在、公共下水道と農業集落排水への接続率はともに74%。

合併浄化槽は全体で2966基、区域外では1140基。水質検査の受検率は61.6%、定期検査は16.1%。広報等で受検、清掃を呼びかけていく。

**問** 橋梁調査の結果と対策は

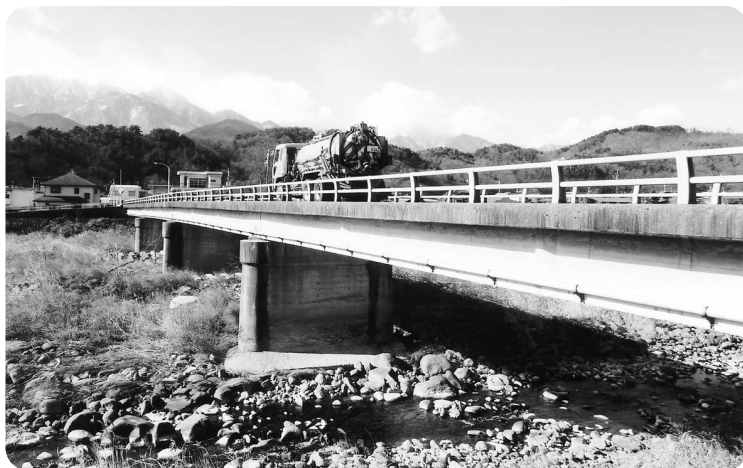
市内の多くの橋梁は耐用年数を超過している。市民や観光客の安全確保のため対策が急がれる。

橋梁調査結果の市民への公表は。改修計画と実施計画への対策は。

**答** 新年度から整備に着手

**建設部長** 調査結果は、広報等

で概要を公表するよう検討する。20・21年度に検査機関に委託し、426橋の調査をした。主要な259橋の長寿化修繕計画策定の準備をしている。高額の財政負担が伴うため、財政健全化に配慮し、優先順位を検討し22年度から整備に着手。



荒廃化する河川敷

市民フォーラム

水道料金統一問題は



篠原 眞清

**問** 12月定例会への条例案提出を見送ったが、今後のスケジュールは。どのように料金統一を進めるのか。

**答** 水道ビジョン策定の進捗状況は、簡易水道統合計画を最終的にどうするののか。

水道会計の長期的見直しを示せ。水道企業団の責任水量制の見直しを始めるべきだが、審議会の答申で施策展開しているが、市民は不公平感や不満を持っている。市が具体的ビジョンを示すべきだと考えるが、市長の考えは。

**答** 早期に料金統一を進めたい

**市長** さらに説明会を開催、早期に統一を進めたい。

企業団の経営が安定してきたので、構成市と検討する。

総合計画を理解いただき、施策推進を進めたい。

**生活環境部長** 将来構想を策定し本年度中に完成予定。

簡易水道統合では料金の統一も必要で、当面2体系での統一を図り、将来的に市内統一料金としたい。

現在は赤字経営。地域水道ビジョンなどの長期的な計画で、歳出縮減と健全化を図りたい。

**問** 22年度予算編成は

予算編成に事業仕分けを取り入れる考えは。

総合計画にのっとりた予算編成と新規事業に説明責任を。

決算審査・監査の指摘をどう

水道企業団の塩川浄水場



算編成に生かすのか。

審議会上に公募枠を増やし、客観性を持たせる考えは。

**答** 審査・監査の指摘は予算に反映

**市長** 外部評価のあり方、手法など見直し研究する。

8つの杜づくりで施策の大綱・体系を基本に予算編成。緊急・特例的事業は補正予算で対応する。

市民参加の場であり幅広く委員

登用している。公募委員・男女比・年齢構成・地域性などを配慮し、バランスをとる。

**企画部長** 決算審査・決算監査の指摘を受けて、それぞれの所属で必要に応じ予算要求を行い、監査委員からの指摘にも対応している。

**問** 人事制度は

人事課を設置する考えは。58歳退職勧奨は、大局的観点で市にプラスか。

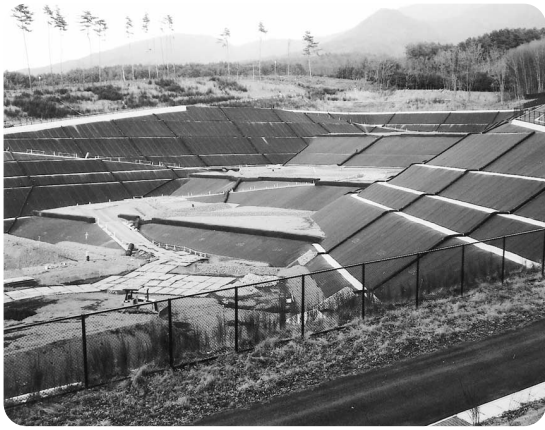
賃金を含めた人件費の推移を示せ。

**答** 退職勧奨は着実な成果

**市長** 退職勧奨は着実な成果が出ている。適正化計画の進捗状況も見ながら、制度見直しを検討する。

**総務部長** 人事担当は4人体制で、職員数は人口規模からして遜色なく、適正な人事管理が行われている。

18年度決算額72億1450万円に対し、19年度71億5290万円で、6160万円、0.9%の減、20年度が70億1430万円で前年度対比1億3860万円、1.9%の減額。



廃棄物最終処分場

**問** 医療・福祉の連携は

地域医療のあり方、市内の福祉施設の役割は。  
医療・社会福祉従事者・市民の連携や、これを網羅する協議会での情報交換が必要だが。

**答** 参加者の拡大で地域づくりに

**保健福祉部長** 峡北地域で入院できるのは4病院、医師数も10万人当たり113人、北杜市だけでなく66人で、救急医療も峡中地域に頼ることが多い現状だ。福祉施設にも十分対応していただいているが、一層の連携をとっていただきたいと考えている。

市では北杜市地域ケア会議を設置し、介護保険の事業者を中心に、情報交換、調整・相談・指導等を行っている。今後は参加者の拡大や検討を行い、地域づくりにつなげていきたい。

**問** 明野廃棄物最終処分場問題は

操業期間の延長、協定内容の変更に対する市の考えは。

経費節減のために水処理施設の稼動を一部取りやめるのは、安全性確保の手抜きだが、湯沢川水質検査や、周辺地域の大気など市の調査は。

**答** 公害防止協定遵守が基本

**市長** 県・環境整備事業団で締結した公害防止協定遵守が基本と考えている。

安全・適正な処分場の運転管理を前提に運転抑制している状況で、経費節減が目的でないと思う。

**生活環境部長** 処分場の安全性は、廃棄物最終処分場の事業団で公害防止協定の細目規定が定められ、水質・発生ガス・騒音・悪臭などの検査結果を安全管理委員会などで検証しており、市独自の調査実施は考えていない。

議会のスケジュール

10月

- 14日(水) 広報編集委員会
- 19日(月) 峡北広域行政事務組合 議会全員協議会
- 21日(水) 県後期高齢者医療広域連合議会本会議
- 21日(水) 22日(木) 全国市議会議長会研究フォーラム in 金沢
- 23日(金) 広報編集委員会
- 26日(月) 峡北広域行政事務組合 議会本会議
- 28日(水) 広報編集委員会
- 30日(金) 広報編集委員会

11月

- 5日(木) 議会運営委員会
- 5日(木) 6日(金) 議会運営委員会視察研修
- 12日(木) 13日(金) 総務・文教厚生常任委員会視察研修
- 18日(水) 議会運営委員会 全員協議会
- 30日(月) 第4回臨時会

12月

- 4日(金) 議会運営委員会 全員協議会
- 8日(火) 25日(金) 第4回定例会
- 8日(火) 広報編集委員会
- 11日(金) 広報編集委員会

12月定例会日程

- 8日(火) 開会
- ・本会議
- 市長所信表明
- 議案説明
- 議案審議
- 10日(木) 議会運営委員会
- 11日(金) 全員協議会
- 14日(月) 総務常任委員会
- 15日(火) 文教厚生常任委員会
- 16日(水) 経済環境常任委員会
- 18日(金) 全員協議会
- 22日(火) 本会議
- ・本会議
- 代表質問
- 24日(木) 本会議
- ・本会議
- 一般質問
- 25日(金) 本会議
- 議案審議
- 閉会

公明党

## 市の活性化策は



小尾 直知

**問** 市長は所信表明で、リトリートの杜事業や長野県富士見町・原村との観光圏構想、早稲田大学との連携協定などの準備を進めていると表明された。

現在取り組んでいる施策は。今後の計画、予定している施策は。市民活動支援制度や水守制度、文化推進事業など進める考えは。

**答** 多彩な事業を展開し活性化を図る

**市長** 市民協働推進プロジェクトとして、総務省の「がんばる地方応援プログラム」が昨年度地域づくり総務大臣表彰をいただいた。産業振興関連では、白州町台ヶ原地区で、「ふるさと地域力発掘支援モデル事業」に取り組み、歴史・文化の保存継承や景観形成、特産

品の開発・販売、祭りやイベントを開催し、都市農村交流による活性化や後継者・新規就農者の確保を目指している。

環境関連については、環境保全協力金を活用し、里山整備や環境教育などの事業を展開、市民団体やNPOなどから環境保全提案事業を採択し、名水キャンパスin白州と題した水に親しむ事業など現在9事業を実施している。教育・スポーツ関連では、芸術文化スポーツ振興基金を活用し、8事業に補助金を交付し優れた芸術文化の鑑賞等を市民に提供する機会を創出した。

新たな市の活性化策にかかわる事業を計画・実施する際は、総合計画に基づき内容を精査した上で、提案していただいた先進事例の取

り組みなども参考にしながら、市で導入可能なものについて検討していきたい。

**問** 観光戦略は

エコツーリズムの推進を積極的に取り込み、体験学習型観光の展開を考えているか。自然と触れ合うエコツーリズムの取り組みは、新たな観光事業を管理し地域振興の拡大のチャンスとなる。市の考えは。

**答** 地域資源の活用で体験観光プログラムなど発信

**市長** 市内では、フットパス、トレイル、スノーシューなど四季を通じた体験や農作業体験などいくつもの体験観光が実施されている。また、増富再生協議会では、塩川ダムの湖面を利用した力ヌーなどによるエコ体験ツアーを企画し、実現に向けて地域が一体となって取り組んでいる。

NPO法人・八ヶ岳南麓景観を考える会などの6団体が、八ヶ岳南麓エコツーリズム推進協議会を立ち上げ、自然景観等の地域資源を保全活用し持続可能な良質な観光地とするため、八ヶ岳エコソムリエの養成、エコソムリエツアーの開発と実現を掲げ内閣府の地方



再生なるか

の元気再生事業に採用された。

こうした活動は、観光客の観光資源・地域資源に対する意識や認知度を高める効果があり、現在策定中の観光圏整備計画で観光資源の発掘・活用事業を共通施策に加えながら、体験型のコンテンツの充実と集約化を図り、同時に情報を一元化した体験型プログラムの発信を強化し、市の観光資源の認知度を高めることで観光の活性化につなげていきたい。

# 一般質問

## 水道料金の統一は



清水 進  
(日本共産党)

問 水道料金統一作成案は、市民の理解が得られていない。資料を公開し、市民との対話を重視すること。熊本市は、水道資源のすべてを地下水で賄い、「蛇口を捻ればミネラルウォーターが自慢です」。北杜市でも自然を大切に、湧水を守り、ダムに頼らず、安全な水の提供を行う事業展開の考えは。

### 水道運営委員会で検討した

市長 再度説明会を開催し、早期に料金統一を進めたい。ダム受水も有効に活用する。

### 多摩金属処分場、今後の対策は

問 許可面積以上の廃棄物が埋められ、有毒ガス

も出ている。処分場には亀裂があり、法面の崩壊する危険性もある。実態調査や市の対策は。

生活環境部長 県は毎年ガス臭気測定を実施、周辺環境への影響はない。県と連携し対応する。



危ない、崩落しそう

### 一人暮らし

### 高齢者支援は

問 ヤクルト配達・電話の安否確認事業の復活を。市長 緊急通報システムの普及をさらに進める。

## 事業仕分け導入、市の考えは



風間 利子  
(無党派)

問 国は政権交代により「事業仕分け」が行われた。市の事業に無駄はないと考えるが、以下の3点について伺う。  
事業仕分けを市の行政改革の基本課題として取り入れる考えは。  
国の事業仕分けによる市政への影響は。  
市の当初予算時の事業件数は。

### 先進事例参考に研究する

市長 国の事業仕分けは国民の関心を高め、いくつかの自治体で取り入れられている。

外部評価のあり方も各種手法があり、今後、先進事例も参考にしながら研究していきたい。仕分け結果に対する市



注目された事業仕分け

の調査では20事業に影響がある。国の予算編成の中で、どのような影響があるか見極めていきたい。企画部長 一般会計当初予算における細目数では520ある。義務的経費やそれに準ずる経費を含んだもので、部局別で最も多いのが教育委員会の165、次いで保健福祉部110、総務部65と続いている。

## フィルムコミッションと地域活性化は



中嶋 新  
(北杜クラブ)

問 映画撮影の誘致などで市を全国にPRするフィルムコミッション事業は観光振興にとどまらず、市民活動に発展し地域が活性化するために伺う。  
黒澤明監督生誕100周年の記念事業の内容は。風林火山館の利用状況と運用は。  
活動団体との協働体制の構築は。

### 市民との協働で

市長 来月10月、1カ月のイベント開催に向け調整を進めており、黒澤作品の衣装などの展示、著名な指揮者によるフィルムコンサート、能に特化した舞台などを計画。多くの黒澤ファンが本市を訪れることを期待する。産業観光部長 約60万

人の来場者を迎えた。県との借地契約が23年6月に終了するので、来年度を最終年度として、積極的に映画撮影の誘致など観光振興に努めたい。  
FCは撮影誘致や支援をする組織であり、撮影依頼の対応、製作スタッフとの調整、エキストラの登録などを行い33作品ほど撮影した。市民有志と共催した新しい事業を展開しており、これらの活動を通して多くの市民との協働体制を構築したい。



「天地人」の撮影

# 一般質問

## ランチルームの充実を



利根川 昇  
(北杜クラブ)

問 「おはよう!!朝ごはん宣言」をした北杜市にとって、学校給食は食育の最適な機会である。小中学校のランチルームを充実すべきではないか。

マナーや社交性を身につけ構想段階から考えるべきだが。

小学校6校・中学校3校にはスタート時点で配置は考えられないか。生徒の交流の場として多目的に使えると思うが空き教室の利用を改めて考えられないか。

### 新しい学校づくりの課題

教育長 保護者・学校関係者の意見を反映し、財政状況も考慮して話し合いをする。今後の新しい学校づくりを進めるう



ランチルーム

えでひとつの課題だ。友達や先生との交流が生まれ意義がある。小規模ランチルームなどの活用方法を考える。

2010年「国民

読書年」に向けて

問 市民へのPR・啓発運動と、市の事業企画はできないか。

### イベントを計画

教育長 広報「ほくと」や「やまね便り」に随時掲載。ポスターの掲示や講演会などのイベントを計画する。

## 水道料金問題は



千野 秀一  
(北杜クラブ)

問 説明会での質問を伺う。「赤字会計の町の負担分を、黒字の町が負うのは不公平だ」「各町の料金に一律上乘せを」「収支状況別の枠組みに」。

緊急連絡管とは。湧水は。

### 料金は原価に比例していない

市長 合併前の町ごとに政策判断で料金が決められ、給水原価と供給単価は比例していない。市の財政基盤は同じになり、



大泉湧水 岡家女命

同一料金で水道事業経営を進めたい。国の方針でもあり、補助事業として避けて通れない。

生活環境部長 料金一律上乘せは、統一と逆。漏水工事、渇水時など一時的なもの。湧水は大切に守る。

### 公共施設の耐震性は

問 一定規模以上の公共施設の耐震性の状況・整備計画は。市内の適正配置を考慮した整備計画は。

### 適正配置が必要

建設部長 公共建築物は547棟、耐震建築物の比率は59.2%。27年度までに90%の目標設定で施設整備をする。耐震対策を含め適正配置を進める。

## 企業誘致と産業育成は



渡邊 英子  
(北杜クラブ)

問 豊かな自然資源を背景に、食品関連産業の誘致で高い評価だ。今後どんな業種を対象とするのか。

市内中小企業の経営は厳しい。いかに保護育成していくのか。また、民間企業の雇用創出に市単独の補助制度を。

企業誘致や既存企業育成には、中央道や国道へのアクセス強化が必要だ。また、市内には中小企業が多く、交流会などで活性化を図る考えは。

### 市内企業への支援も重要

市長 県の企業立地基本計画に沿った誘致を進めるとともに、遊休農地の活用や地域経済の活性化に結びつく企業の誘致

にに取り組む。北杜市中小企業振興基本条例に基づき、中小企業の競争力の向上に努める。

地域産業の活性化につながるよう交流会の活動に協力していく。産業観光部長 雇用機

会の創出、利子補給など側面から支援していく。建設部長 地域活性化に有効な道路と未整備個所の整備を国・県に要望していく。



がんばる地元企業



# 一般質問

## 保育の充実



保坂多枝子  
(明政クラブ)

問 第2子以降の保育料が無料化になり、制度導入後は入所希望者が増加している。低年齢の幼児の希望が多いが、職員や施設整備・体制が整っていないようだ。現状と対策、保育士の資質向上と安全確保についての考えは。

答 申請方法、利用者数と利用が少ないことの理由と対策は。

### 制度説明し 活用に努める

保健福祉部長 介護用品支給113人。医療機関受診時タクシー券を支給する外出支援20人。緊急通報整備187人。介護慰労金4人に支給。申請書を長寿福祉課が総合支所に提出して申請。資格要件があわず利用の少ない介護慰労金は今後検討

### 積極的対応を図る

市長 低年齢児を中心に希望保育園に入所できない状況だ。保育士確保が重要で、保育園のあり方や内容を見直す中で研修や講習も行い、積極的に対応したい。

### 在宅介護の支援は

問 介護が施設から地域家庭へ移行されつつある。在宅介護者等への支援内



フライパン号出発!

## 環境対策の取り組み



渡邊 陽一  
(明政クラブ)

問 市は、県内でもいち早く環境問題や地球温暖化防止策を考えているが、なお一歩先に進むことも必要だ。ごみ分別による資源化や環境教育の一環としてプラスチックを混合油(軽油)に再生する装置を取り上げたが、子どもたちと一緒に体験し、学校に機械が導入できたらごみを集めて油をつくらせてみたいと話していた。油化装置導入の進展について伺う。

答 リプロピレン、ポリエチレン、ポリスチレンの3種。資源としての再利用のほか、分別意識が身につくことで地域や学校での環境教育として有効なものである。

油化装置は、実際の利用方法や管理方法などが検討すべき課題があるが、環境保全基金の活用も踏まえ検討していきたい。

### 油化装置

### 基金活用も検討

生活環境部長 油化装置は、プラスチックの油化実験を体験しリサイクルの現実を身近に感じることがができるもので、油化できるプラスチックはポ



プラスチックはゴミじゃない

## 安全な歩道設置



秋山 九一  
(明政クラブ)

問 学校など公共施設周辺で歩道が整備されていないところが多い。通行量が多く、道幅も狭い危険箇所があり交通事故の心配もある。早急な対応が必要だ。

答 ある。歩行者の安全確保からも、要望個所は計画的に事業実施している。長坂〜夏秋線は、測量設計後の地権者説明会を計画している。

### 年末年始の緊急

### 相談窓口の設置は

計画的に事業実施  
建設部長 市が実施する道路整備は、地元の要望を考慮し、地権者の協力を得て歩道を含めた拡幅改良を行っているが、歩道の未整備箇所も数多く

### 相談体制を 整えている



安心して通学を

産業観光部長 商工会と連携し「緊急経済対策相談窓口」を開設、中小企業の支援に努め求職相談や労働相談に対応している。生活困窮相談、中小企業者への金融相談体制も整えている。

# 一般質問

## 小中学校の 適正規模配置等は



相吉 正一  
(明政クラブ)

問 地域関係者への説明会の状況と主な意見は今後の説明会の予定・進め方は。  
統一した場合の避難場所、跡地活用は。

### 経過報告・検討会 を開催

教育長 17回の審議経過報告会を開催。長坂地区では、過疎化に拍車がかかる等様々な意見があった。  
須玉・長坂・高根の小学校統合を先に進める。  
避難場所の確保は防災部局と調整、跡地は適切な活用をしていく。

### 組織再編に伴う

### 職員の適正配置は

問 人事異動で事務事業に支障がでている部署が



雪道はこわいよー

ある。適正配置し、課題解決への対応は。  
市長 事務事業推進に配慮、適材適所の配置に努める。

### 除雪対策と市道 路線の見直しを

問 除雪対策路線の見直しと安全対策は。  
市道路線の見直しは。  
建設部長 除雪対策会議で除雪区間を調整・協議し対応。  
本年度から路線の見直しと再編成作業を進めている。

## 市民の健康管理態勢は



小林 忠雄  
(市民フォーラム)

問 特定健診・がん検診の受診率は。  
県では「がん対策アクションプラン」を策定する。市の推進体制ならびに終末医療に関し、市立病院・診療所の果たす役割は。

### 死亡率の高い 肝がん対策が急務

保健福祉部長 総合健診は、国保加入者40,744歳の方が対象で4,664人が受診、受診率は37.4%。がん検診は胃がん17.6%、大腸がん35.2%、肝がん46.9%、肺がん53%、乳がん35%。がん予防対策は、がん検診とともに生活習慣の改善に向けた取り組み強化が重要だ。検診の推進体制の強化を図っている。

肝がんの死亡率の高い本市では、肝炎対策が急務で、保健指導の徹底を図り、早期治療や個別相談による支援など肝炎対策の充実を図っていく。  
終末医療に対する市立病院・診療所の役割として、終末医療に積極的に取り組む先生方が多いので、さらに連携を図っていけると考えている。



市民の健康を守る

## 報告

### 山梨県後期高齢者医療広域連合 議会報告

10月21日に第2回定例会が開催され、認定2件、条例1件、補正予算2件、同意1件について審議し、原案のとおり可決、同意されました。

### 峡北広域行政事務組合議会報告

10月26日に第2回定例会が開催され、報告2件、認定5件、補正予算5件、契約1件について審議し、原案のとおり認定、可決されました。



圧縮空気発泡装置付ポンプ車（長坂消防署）



子ども会議！？

# 声のひろば

koe no hiroba

## 恩師の便りに感謝



長坂町  
つちやま 弘

今から37年前の小学校6年生の時の恩師から便りをいただいた。

当時は新人だったが、その後校長時代に「弁当の日」を創設した。約束ごとは、子どもたちだけで献立を立て、材料の買い出しに行き、親は一切手伝わない。朝早く起きて自分で作り、弁当に名前をつける。弁当づくりをきっかけに、感謝の気持ちと食べ物大切に作る心が芽生えたという。

我が北杜市も自然の産物が身近に手に入る強みを生かし、食の大切さや安全・安心の教育に、より取り組んでほしい。未来の宝である子どもたちに食べることはどうということかを、しっかり教えていただきたい。

## 北杜市へ期待



明野町  
小泉隼人

2010年。区切りの年の新春ということで、いろいろな面で変革の時だと思えます。政権も交代し新しい視点から見方も変わり、この不況の時代が少しでもよくなればと思います。

北杜市にお願いしたいのは、企業誘致などに力を入れていただき、雇用が増えれば自然に若い人たちが地元に戻りたい、また地元で子育てしたいと思うはず。そうならば、同時に少子化対策になります。私は明野町在住です。明野町はご存知のように日照時間日本一です。もっと公共施設などで太陽光の利用をしていただきたいと思います。

我が北杜市。ますます豊かな自然と活力ある市になるように願います。また心から期待しています。

## イベントによる市の活性化



高根町  
清水卓司

北杜市では、市の誇れるものや特性を売り出すことに日々努力していますが、このためには企画力・演出力がもっとも大事なことだと思えます。

特に企画力では、市の誇れる文化活動やスポーツなど国際的・全国的な大規模のイベントが求められ、訪れる人々をどのように楽しませるかの演出が重要な課題でもあります。

北杜市の誇りとなるものを基に、今までの地域的なイベントではなく、市全体でのイベントに市民一体となつて取り組み、創意工夫した企画・演出によって多くの人々を引き寄せ、交流を深めながら語り合い、学び合うことにより、より大勢の人々が訪れ、北杜市の活性化に結びつくことを期待します。

## 今こそチャレンジを



白州町  
原 堅志

聞くところによると、平成22年度から武川町の米・米祭り、白州町の名水祭りを一つにして実施するようですが、北杜24景にもある「べるが通り」全体を使って、米と名水をリンクして甲斐駒ヶ岳をバックに開催し、台ヶ原宿骨董市とも連携するぐらいの、大胆なチャレンジをしてもらいたいと考えます。

旧町村ごとに地域委員会があります。しかし、各地区の市民に地域ごとの活動が見えません。どうか今こそ、夢のある提案を行政に対して行ってもらいたいと思います。

最後に、議会に対しては合併後の市民生活の一元化について、もっと積極的に行政と議論を行い、北杜市民に希望を与える議会活動を期待します。

# 北杜市ウォッチング

HOKUTO-SHI WATCHING



冬でも素足 寒稽古



今年もよろしくお願ひします



おめでとう



## 編集後記

雄大にそびえる山々から凜とした風が吹き下ろしてきます。空は澄みわたる星がまたたく星見里（北杜市）の冬も素敵です。

冷たい風の中、日だまりにはわずかにふきのとうが芽を出し始め、早く来ないかと春の訪れを待っているかのようです。

12月議会は、国政による市の予算編成への影響や行財政改革による組織改革、水道料金統一等について多くの意見が交わされました。

まだまだ不況が続いていますが、2010年、行政組織も改編する中、力みなぎる北杜市となるよう議員一同励んでまいります。

議会の様子をわかりやすくお伝えし、ご理解いただくよう編集委員会も努力してまいります。皆さまのご意見をお寄せください。

- 議会広報編集委員会
- 委員長 保坂多枝子
  - 副委員長 中嶋 新
  - 委員 小尾 直知
  - 委員 坂本 静
  - 委員 野中真理子
  - 委員 小須田 稔
  - 委員 千野 秀一
  - 委員 風間 利子
  - 委員 清水 進